

平成30年度

第1回 第二期新温泉町立浜坂認定こども園

整備検討委員会会議録

(平成30年6月8日開催)

## 第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会会議録

1 日時 平成30年6月8日（金）午後3時00分～5時20分

2 場所 新温泉町立浜坂認定こども園

3 出席者

（構成員）陣在愛理委員、福原公一郎委員、西村美幸委員、福田栄子委員、中澤典男委員、丸山茂樹委員、池成和幸委員、西村真理子委員、大田鈴子委員、今木逸平委員、猪坂悦司委員、永井茉莉子委員、（欠席）西岡安雄委員  
（アドバイザー） 遠藤由美子鳥取環境大学副学長

（事務局）西村町長（正副委員長が決定するまで）、岡田教育長、西村こども教育課長、吉田こども教育課課長補佐兼教育総務係長、浜田こども育成係長、中尾主査

（企画調整） 井上企画課長

4 傍聴者 2人（神戸新聞、日本海新聞）

5 議 事

- (1) 新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会設置要綱について
- (2) 委員長・副委員長の互選について
- (3) 会議の公開・非公開について
- (4) 浜坂認定こども園の施設整備に係る現在までの経緯について
- (5) 日本海沿岸地域津波浸水想定図について（H30.3.5兵庫県公表）
- (6) 建替え候補地について（案）
- (7) 今後のスケジュール予定について

\*\*\*\*\*

開会 午後3時00分

\*\*\*\*\*

○吉田課長補佐 お一人が遅刻か欠席と聞いております。予定の皆さんがお集まりですので、只今から「第1回 第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会」を始めさせていただきます。開会にあたり西村町長が挨拶を申し上げます。

○西村町長 日中のお忙しい時間にお集まりいただきありがとうございます。第二期の検討委員会ということで、新しいメンバーで改めてご検討いただきます。昨年度、建替え地について一旦は決まりかけていたわけですが、地域の合意形成や利用団体からの

反対意見があり中断している状況です。昨年11月の町長選で立替場所の見直しを公約に挙げておりました。その中で「賛成」「反対」「津波対策を急げ」などたくさんの意見を聞いております。今年3月には県が津波に関するデータを出しております。今回は鳥取環境大学の遠藤先生にアドバイザーとして加わっていただき、専門的な見地からアドバイスをいただけたらと思っております。全ての意見に合意することは難しいですが、地域の皆さんの声を出来るだけ反映できるようご意見を頂戴できればと思います。地域の子どもたちの未来を決める重要な施設と認識しております。急ぐ面はありますが、将来を見据えたものになりますようご検討いただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○吉田課長補佐 次に、委嘱状の交付ですが、本来であれば町長が皆様お一人お一人に交付させていただくのが本意ではありますが、この後協議事項がたくさんあります。時間の都合上、それぞれの席に置かせていただいております。それぞれの委嘱状をご確認いただき交付に変えさせていただくということでご理解ください。

次に、委員自己紹介ですが、教育長から事務局、委員、遠藤先生の順に時計回りをお願いいたします。

○岡田教育長 皆様のお知恵をいただきまして、適切かつ妥当な方向付けが出来ますようよろしくお願いいたします。

(事務局、委員が順次自己紹介を行う。)

○遠藤先生 私は建築が専門で、これまで経験したことで皆様のお手伝いができれば嬉しいと思っております。今回の件では、住民の合意、理解が大切であります。施設を造る場合に100%満足ということはあり得ないことなので、建設的な意見を心がけないといけないと自分に言い聞かせています。孫は幼稚園に通っておりますし、子どもは大好きですので、大変興味のある分野です。よろしくお願いいたします。

○吉田課長補佐 引き続き協議事項に入らせていただきます。(1)新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会設置要綱について、課長の西村が説明いたします。

(西村課長が説明)

○吉田課長補佐 ただ今の説明について質問がございますか。(質問なし)

よろしければ、次の委員長、副委員長の選出に移ります。委員の互選により選出となっております。先に委員長の選出についてお諮りいたします。委員の皆様のご意見をお願いいたします。

- 委員 商工会長でもある猪坂委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
- 吉田課長補佐 猪坂委員を推薦するという意見ですがいかがでしょうか。賛成の方は拍手をお願いいたします。（全員が拍手）ありがとうございます。次に副委員長ですが、猪坂委員長のご意向はございますか。
- 猪坂委員長 中澤委員にお願いできたらと思います。
- 吉田課長補佐 委員長のご希望ということで中澤委員の推薦がありましたがいかがでしょうか。賛成の方は拍手をお願いいたします。（全員が拍手）ありがとうございます。それでは、委員長、副委員長は前の席へ移動をお願いいたします。ここで町長は退席となります。
- 以降の進行につきましては猪坂委員長をお願いいたします。
- 猪坂委員長 浜坂の地の未来を担う子どもたちのための浜坂認定こども園についての協議になります。忌憚のない意見を出していただきまして、実のある委員会にさせていただき、町長へ報告が出来ればと思います。中澤副委員長にも一言お願いいたします。
- 中澤副委員長 第一期を経験しておりますので、それを基にがんばりたいと思います。皆さんからご意見を頂戴し、より良い方向付けが出来ればと思っておりますのでよろしくをお願いいたします。
- 猪坂委員長 (3) 会議の公開・非公開について、事務局の説明をお願いいたします。
- 吉田課長補佐 新温泉町審議会等の会議の公開に関する要綱で、会議の公開・非公開は委員長が会議に諮って行うこととなっております。第一期におきましては、候補地につきまして、私有地が絡んでくるということがございまして非公開で進めてきた経過がございます。第二期におきましても、この部分には一定の配慮が必要と考えております。事務局としましては、早めに候補地（案）を詰めさせていただいて、その時点で再度公開・非公開を議論していただくということで、それまでは非公開で進めさせていただきたいと考えております。
- 猪坂委員長 事務局からの提案がありましたが、何かご質問やご意見がございますか。デリケートな部分がございますので、候補地（案）が出揃ってから再度協議を行うことでよろしいでしょうか。（委員了解）
- 吉田課長補佐 本日、新聞記者の方が2人来ておられます。これまでの経過はお聞きいただいて、(6) 建替え候補地について（案）の前に退席いただくということでお願いいたします。

○猪坂委員長 (4) 浜坂認定こども園の施設整備に係る現在までの経緯について、事務局より説明をお願いします。

(中尾主査が説明)

○猪坂委員長 関連がありますので、引き続き (5) 日本海沿岸地域津波浸水想定図について (H30. 3. 5兵庫県公表)、説明をお願いします。

(中尾主査が説明)

○猪坂委員長 ここで遠藤先生に第一期の経過報告を受けてご意見をいただきたいと思えます。

○遠藤先生 経過を見せていただくと、最初は、施設の老朽化や0歳児の受入、津波対策という課題の解消であった。候補地を選定し、すこやか広場の地元や施設利用者に説明をするとそれぞれから反対意見が出てきた。候補地選定に時間がたったことで、3月の兵庫県の津波データ発表で、現在地で津波の問題がないということになった。そうすると最初に戻って、施設の老朽化や0歳児の受入が残るということになる。今後は、条件整理をしていき、どのように合理的判断をしていくかを皆さんに協議していただければ良いのではないかと思います。お金の問題もあるし、時間の問題もあるし、敷地の問題もあるでしょうから、それらを総合的に見ていく中で、それぞれの立場で意見が出てくると思います。経過報告にもありましたが、住民の合意や理解は大切です。自分にとっては不利なことであってもしっかりと説明すればご理解いただけるということもある。今後の進め方として、公開できない情報もあるかとは思いますが、できる限り情報は公開していくべきと考えます。

○猪坂委員長 先生のお話で問題が見えてきたような気がします。

○委員 幼い子ども達の安全安心を考えると早く整備して欲しい。ニーズが多様化しているので、その対応も必要です。個人的には海が近いのは不安を感じる。

○猪坂委員長 これまでのお話の中で、ご意見やお聞きしたいことがありましたらお願いします。

○委員 津波が心配ないとなると、老朽化では大庭認定こども園の優先順位が先という話が出てくるのでは？

○遠藤先生 津波が来ないといわれても不安を感じる人はいる。敷地は高いほうが良いと思うが、そこを利用している人の意見も大切。他園の老朽化の話が出たが、1つの施設を造るときに、町の全体像を考える必要がある。今後の保育の多様化への対応や人

口推移などを総合的に検討する必要がある。

○西村課長 人口減少に伴い乳幼児の減少も見られる。一方で、保育ニーズの多様化で0～2歳児の入園が増えている。今年度も大庭の方に浜坂認定こども園に入園してもらうなどの対応している。0歳児については、明星認定こども園とゆめっこ認定こども園のみの対応となっている。町全体として待機児童を出さないように対応している。また、保育料無償化が来年10月にスタートし、3～5歳児が無償になるので、預ける人が増えることが予想される。現状で待機児童を出さないように町全体でギリギリの調整を行っているのが実情である。大庭認定こども園のほうが古いという話があったが、浜坂認定こども園は耐力度調査を実施済みで、耐力度がないという結果となっていて、建替えに向けての準備が進んでいる状況である。

○猪坂委員長 事務局からの説明がありましたが、いかがでしょうか。

○委員 第一期の議論の中でも、浜坂も大庭も古いということや子どもの数が減っていくということで統合という話があったが、津波を考慮してまずは浜坂の建替えを考えましょうということになって、大庭認定こども園の話はくすぶった状況になったように感じていた。津波を気にしなくて良いということになれば、大庭認定こども園のことは気になる。浜坂認定こども園の候補地については、すこやか広場は良いという認識がある。問題は住民に理解ということなので、そこを何とか理解していただければ良いのではないかと思う。子どものことを1番に考えるということがぶれないように、できるだけ海から遠く、敷地も広くということですからすこやか広場が1番良いと思います。

○猪坂委員長 すこやか広場が候補から消えたということではないと理解しています。住民への説明が十分ではなかったのではないかという意見ですね。

○委員 地元にしてみれば、急に大きなものが建つという話を受けたという印象があったと思うし、地元の人からは説明を受けていないし、賛成・反対も聞かれていないということも聞いた。地元全体が反対しているということになっているのは気になっている。

○委員 こども園は地域の中で育っていくものだと思う。現在地は買い物のついでに寄ることができる場所で、園児も地域の方と触れ合えるので、津波のことは置いておくと良い場所であると思う。嵩上げして建てることも考えられるのではないか。0歳児保育のニーズが増えていることを実感している。早急に整備をお願いしたい。

○委員 0歳児の子どもを預けるとなると明星かゆめっこまで連れて行く必要があり、負

担になる。大庭の人が浜坂認定こども園に通園しているということであったが、制服が違うので経済的な負担になる。統合したら良いのではないかと思う。

○猪坂委員長 津波のことはクリアしたという認識で良いでしょうか。

○遠藤先生 県の発表ではそうですが、想定外ということを考えて不安を感じている人もいると思う。現在地に建てるとした場合は相応の配慮は必要である。避難の方法や時間についての検討や敷地の嵩上げなどを考えることが解決策の1つになると考える。安全安心は必ず考えなければならない項目である。

○西村課長 すこやか広場は候補地として外れたわけではありません。町長もそのことは発言しております。

○岡田教育長 浜坂と大庭の統合については、それぞれの園の現状や整備の時間的なことを考えると、統合や両方同時整備となると対応が難しくなるので、まずは浜坂認定こども園の整備に傾注したい。

○委員 この場所は洪水にも弱い。数年前にも浸かっている。洪水のことも検討する必要がある。

○吉田課長補佐 ご指摘のことは、資料の10ページにお示ししている。第一期のときにも洪水は項目に挙がっていた。現在地は1.0～2.0mの浸水が想定されている。幸い現在までに園舎が浸かったということはないわけですが、建替えを急ぐ理由の1つであります。

○委員 災害や地盤のことなど検討項目によっては建設課など専門的な知識を持っている職員が入ったほうが良いと思うが、教育関係の職員しか入っていない。11ページの比較表で、地盤について「不明」が並んでいる。これでは検討できないのではないか。

○吉田課長補佐 私有地であったりとか費用の面で調査が出来ていない。

○遠藤先生 地盤は費用をかけて専門業者に調べてもらう必要がある。ただし、近隣で調査しているものがあれば参考にはなる。現在地には杭が入っているということであるので地盤は強くないので、それなりの対応が必要であると想定できる。

○委員 すこやか広場は急傾斜にかかると思うが、大丈夫なのか気になる。

○委員 浜坂認定こども園を先に整備するという認識で良いか。将来を考えて大きめの施設を考えた方がよいのではないか。

○委員 第一期でもその議論はあったが、当時の教育長からは「ここ10年は統合を考えない」という発言があった。「大庭認定こども園の園児数は減っているが少しずつで

ある。病院もあるし、大庭は大庭で子どもの声を残したい。将来的な子どもの数は大庭も減れば浜坂も減るので統合も可能である」という説明であった。

保護者説明会のときに、保護者から「何で『すこやか広場』なんですか」という質問がたくさん出たので、私から「避難するとき、0歳児の場合、1人の先生が2・3人の子どもを連れて逃げることになる。それが現在地では出来ないですよね。子どもの命を優先するのであれば、浜坂中学校に避難しやすい『すこやか広場』しかない」と言わせてもらった。現在地であれば、敷地を嵩上げしたところで周りが浸水したら迎えに来れなくなる。保護者は子どもの命が最優先であり、そのことの説明が不十分。噂が先行して「3階建てが建って日当たりが…」といった変な話になっていることもあった。しっかり説明していただきたい。しおかぜ通りがなぜダメだったか理由は「何で海に近づくの」ということでした。

- 委員 津波は川に沿って進むので大丈夫だし、砂地であり地盤もしっかりしていると説明した。一方で墓地に隣接しているという意見もあった。
- 委員 地権者が多いということもあった。
- 西村課長 大庭認定こども園の浸水については、河川改良が行われ、その後浸水はない。
- 委員 耐力度調査は大庭認定こども園もしたのですか。
- 吉田課長補佐 耐力度調査は建替えを行う建物について行うものであり、大庭認定こども園は実施していない。
- 西村課長 耐力度調査と耐震診断とがあるが、耐震診断は2階建て以上の建物が対象であり、平屋は努力義務にもなっていないので実施していない。
- 委員 将来の少子化を踏まえ、統合を見据えた施設にする必要があるのではないか。
- 岡田教育長 この検討委員会はいくまで浜坂認定こども園を先行的にしていくということでご理解いただきたい。今後については状況をみながら対応させていただきたいと考えています。
- 委員 もし統合になった場合も、街中の方はバスの送迎はないのか。
- 西村課長 街中で園児が密集している状況の中ではバスの送迎は難しい。
- 委員 場所を郊外にして、バスで送迎ということも考えられるのでは。
- 西村課長 地域で育てるということも大切なことです。
- 委員 バスの送迎があれば踏み切りを越えることも可能かと思ったので。
- 西村課長 ここまでの説明は、すこやか広場になったこれまでの経過の説明です。



○委員 他に候補地があれば出していただいで良いですね。

○猪坂委員長 ここで休憩を5分挟んで、(6)建替え候補地について(案)についての協議に進みたいと思います。

\*\*\*\*\* 休憩 午後4時35分 \*\*\*\*\*

(新聞記者2名退席)

\*\*\*\*\* 再開 午後4時40分 \*\*\*\*\*

○猪坂委員長 休憩を閉じて協議を再開します。委員の皆さんからいろいろな意見が出ましたが、大庭認定こども園より先に浜坂認定こども園の整備を行う理由を明確にしていきたい。浜坂認定こども園だけで検討して欲しいということは理解するが、住民感情として大庭認定こども園のことが出てくる。

○遠藤先生 大庭認定こども園との関係は、町の全体像、将来像からの説明が必要である。次に、浜坂認定こども園の候補地について、候補地ごとに課題がバラバラなのでそれぞれについて整理する必要がある。

○西村課長 第一期では最終候補地をすこやか広場とした。町長はすこやか広場も含めて再検討としている。すこやか広場に別の候補地を加えての検討をお願いしたい。

○遠藤先生 すこやか広場については説明不足が課題という意見があった。他に距離や地域の中といったことをどう考えるか。現在地ではどうかという意見も出ている。建築の立場で言うと、課題は様々あり、解決しないものもあるが、解決できる問題もたくさんある。敷地さえ確保できれば具体的な対応はある程度可能だと考える。

○委員 浜坂の商店街は沈滞している。現在地はナカケーに隣接している。そういうことも考えて検討する必要がある。浜坂が沈滞しないよう色々なことを考えて決める必要がある。

○吉田課長補佐 第一期で候補地選定方針が示されています。その中で「広さ」が現在の敷地面積と同等以上となっていますが、第一期の検討の中で子育て支援センターの併設や0歳児の受入などの機能強化も協議していただいでおり、同等では対応できない状況があります。また、「海拔」に関して、津波高3.4mを考慮して5m以上としています。県の発表で津波の心配より洪水のほうの心配ということになっております。これらの点を見直したいと思いますがよろしいでしょうか。

- 猪坂委員長 事務局より選定方針の見直しのご提案をいただきました。広さの部分、津波・洪水・急傾斜といった部分について再度整理するという点でよろしいでしょうか。
- 委員 広さに関しては必要な面積を示していただければ良いと思いますし、大庭認定こども園についても事務局で整理して対応していただければ私たちがどうこう言うことではないと思います。
- 吉田課長補佐 具体的な候補地として、すこやか広場があり、現在地も津波の影響が少ないということで復活してきていると考えております。それ以外という点、第一期においても、エリアが限られている中で、なかなか候補地が出なかった状況があるわけですが、各委員で候補地案があれば出していただいて、それらを含めて検討していきたいと思っております。
- 委員 勤労者体育館は壊さないのですか。
- 西村課長 現時点では予定はないです。
- 委員 すこやか広場になった場合、こども園と体育館が2つとなるが、2つも要らないのでは。
- 中尾主査 勤労者体育館とすこやか広場の南側半分は土砂災害警戒区域、いわゆるイエローゾーンに指定されている。イエローゾーンであればまだ良いのですが、本年度くらいに県が調査に入るようです。レッドゾーンになると建築物を建てることは難しくなると聞いています。すこやか広場は北側半分がエリア外ですので、そこに園舎を建てることは可能です。勤労者体育館は大半がエリアの中ということで候補地から外れた経緯があります。
- 委員 B&Gのほうは壊せないのか。
- 中尾主査 建てた時の経緯もありますので、この場ではお答えできません。
- 猪坂委員長 皆さんのほうで候補地がありましたらご提案いただければと思います。
- 吉田課長補佐 今後のスケジュールになってきますが、最後のページでスケジュール（案）をお示ししています。今後の予定を考えると候補地を検討する期間は限られるということになるわけですが、お示ししている予定では秋に候補地を決定するという点を事務局としては考えております。その上で、候補地の提案につきましては、現段階ですこやか広場と現在地が候補に挙がっているのかなと思っておりますが、それ以外の皆さんからの提案につきまして、6月25日（月）までに事務局へ出していた

できましたら、その後事務局で諸条件を整理させていただいて次回の会議にお諮りできるかなと思っておりますので、ご理解をいただきご協力をお願いいたします。

○猪坂委員長 事務局から次回に向けての提案がありましたが、いろいろな皆さんの意見がありましたが、現在地、すこやか広場、新たな候補地ということで提案していただきたいと思います。

○西村課長 津波について中尾が説明させていただきましたが、このことが大きなポイントになりますので、次回兵庫県の担当者に来ていただいて説明をしていただこうと考えております。

○猪坂委員長 大事なポイントですので、次回は兵庫県の担当者に説明していただくということも予定しているということです。1回目ということで、皆さんの思いを出していただきたいと思います。大庭認定こども園のことや第一期からの流れなど当局とのずれを感じる部分があります。

○委員 学校が廃校になっていくであろう状況があったり、空き教室があったりしますが、そこを使うということは考えられませんか。

○西村課長 廃校になる学校は今のところ予定はない。

○中尾主査 北小学校には空き教室は1つしかない。住民説明会の場で、浜坂中学校の空き教室の活用の提案があった。次回までに整理して報告させていただく。

○遠藤先生 認定こども園にはいろいろな制限があるので、難しいのでは。

○委員 祖父母が行く場合には浜坂中学校は厳しいように思う。

○猪坂委員長 次回の日程は7月の中旬ということでよろしいですか。

○吉田課長補佐 県の職員の方の都合もありますので、この場では7月中旬ということとさせていただいて、決まり次第連絡させていただくということでお願いいたします。

○委員 問いかけていることに対する回答はいつ頃いただけるのか。大庭認定こども園のこととか、第一期の資料のこととか。

○吉田課長補佐 基本は次の会議で提供します。

○委員 資料は会議の前にいただければそれを見て会議に望めます。

○中尾主査 次回の日程が7月の上旬になった場合は難しい状況も考えられますが、基本は事前送付で対応させていただきます。

○猪坂委員長 時間も長くなりましたので、本日は終了したいと思います。閉会の挨拶を中澤副委員長お願いします。

○中澤副委員長 今日初会合ということでいろいろな意見が出たわけですが、良い方向性を見出し、早く施設を造っていただきたいと思いますので今後ともよろしく  
お願いいたします。

\*\*\*\*\*

閉会 午後5時20分

\*\*\*\*\*